



第1811回 例会

2011-12年度RI会長:カルヤン・パネルジー
 第2640地区ガバナー:大澤 徳平
 創立:昭和49年5月15日
 会長:上原俊宏
 幹事:佐田一三
 会報:榎本真弓



VOL.38 No.15

2011年10月26日(水)

事務所:田辺市下屋敷町81-10
 きのくに信用金庫田辺支店3F
 Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008
 E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp
 例会:毎週水曜日 12:30~

司会者

上原 俊宏 会長

唱歌

"手に手つないで"
 山本 亘 君



出席報告

会員数	義務免除	欠席者数	本日出席率
49名	3名	12名	73.91%
10月12日修正出席率86.96%			

ニコニコ箱

(敬称略)

卓話頑張ります。 藍畑

藍畑君、卓話頑張って下さい。

愛須、榎本、後藤、片井、小山、栗山、楠本、丸山、森本、中川、岡本、坂本、武田、竹村、上原、安井、山本、吉田

久しぶりに山歩きよかったです。 谷峯

先週、ミャンマーの留学生を迎えました。

すごく勉強になりました。 平野

アイちゃんは、太郎のヨメになる。 佐田

ラスベガスでレーサーの佐藤琢磨と16日に食事をし、18日に、インディーカーレースの応援に行ってきました。

VIPルームでビール・食事も自由に観戦していたら、12周目に不幸が起きてしまいました。

34台の内15台の車が、多重クラッシュを起こしたのです。私の知りうる限り、最悪の事故だったと思います。

3台は、炎に包まれて壁に激突、その燃えあがっている車に、ジャンプした車が逆さまのまま突っ込んで行って撃破。インディー500の優勝者のダン・ウェルドンが即死。レースは、中止になりました。世界中にニュースされました。

あの現場にいた日本人は、我々10名ぐらいだけだったでしょう。壮絶でした。 北村

お花頂きます。 中嶋

歳となります。その年を大和心で迎えたいと思い、新年会では、可能であれば和服でお越しいただきたいと存じています。

無理をせず、内儀様にご相談の上、タンスの肥やしを探してみてください。

さて、本日は、突然に牛に関する諺を紹介します。

鶏口となるも牛後となるなかれ

「小さくても、会社の社長になれ、自分の力量でがんばれ」と言う意味でしょうか。

角を矯めて牛を殺す。

「牛の角は元々少し曲がっている。気に入らないからと実直な人がその角を真っ直ぐに矯正し、結果牛は死んでしまった。

余り細かいことを言わず、またロータリークラブの大きさに関わらず、ゆっくりでも田辺東なりの奉仕活動を行いたい。と。

会長報告

本日のプログラムは会員卓話です。職業奉仕月間ということで委員長の藍畑 春雄君です。後ほど、宜しくお願い致します。

本日は奉仕食となっております。ご協力よろしくお願致します。

先週の定例理事会の決定事項を報告致します。

(1) 指名委員選出について...

田辺東RC内規に基づき、

西谷 次彦君(直前会長)、上原 俊宏君(現会長)、橋本 隆君(会長エレクト)、佐田 一三君(理事 会員)、畑地 誠君(会員)の5名が選出され、承認されました。

(2) 忘年会について

会長報告の前に...

秋風が吹き、ふと気がつけば年末になるうとしています。来年のことを言えば鬼が笑うとか申しますが、来年は十二支では実在しない辰年となります。辰は即ち龍でありますから、正に田辺東ロータリークラブの

職業奉仕月間 委員長 藍畑 春雄君 卓話



(地区職業奉仕委員会委員 佐藤栄志(有田2000))
地区HPより抜粋

「ロータリーは奉仕に献身する人作り」と言われており、まさに崇高な人格形成を目指す道場であると私は思います

それは、私たちにとって永遠の目標、いわば理想であり、その理想に少しでも近づこうとロータリー道場において“サービスの心”を学ぶべく、いろんな奉仕活動に参画し、自己修練に励んでいるのであります。

しかし、その目指すものは一生かかっても届きそうにもない高い高い所にあり、ゴールの見えない道程であるが故、私たちは学びつつ、実践し続けなければなりません。

すなわち、「ロータリー道場において、クラブ奉仕・社会奉仕・国際奉仕に積極的に参画し、一生懸命活動し、その結果、感動を覚え、人々に喜びを与える楽しさと、爽やかで清々しい体感を積重ねる事により、知らず知らずのうちに、“サービスの心”を宿し、その心を持って、自己の職場で“サービスの心”を実践してください」というのがロータリーだと私は思います。

だから、「クラブ奉佳・社会奉仕・国祭奉仕という3つの委員会の活動は、ロータリアンが自己の職場で職業サービスを実践するための“サービスの心”を習得する手段として存在するものであり、4つの委員会を同格に、同列に横並びさせるべきものではない」と私は思っています。

本来、職業を持たないロータリークラブにおいて、職業奉仕活動の実践は難しいことであり、クラブで実施する奉仕活動に一生懸命取り組むことこそ、“サービスの心”の習得となり、職業サービスの実践につながるのだと思います。

12月14日(水)18:00より

場所は親睦委員が決定する。

- (3) 田辺市暴力追放啓発街頭パレード参加をメークアップとする件 ... 承認
- (4) 移動例会について
11月9日(水)18:00~ 東急ハーヴェストとする件 ... 承認
- (5) 台風災害義援金について ... 50万円、承認

幹事報告

例会日時変更

和歌山中RC 11月4日(金)午後7:00~ 例会場移動
場所 : ロイヤルパインズホテル
プログラム : 次期理事・役員候補者発表
第2回クラブ協議会
海南西RC 11月17日(木) 11月20日(日)
場所 : 京都方面 清水寺、他

メークアップ

10月19日(水)定例理事会

上原 俊宏君、佐田 一三君、中嶋 伸和君、
藍畑 春雄君、畔田 実君、橋本 隆君、
西谷 次彦君、丸山 博之君、竹村 英一君、
山本 亘君

回覧

- ・週報「田辺はまゆうRC」
- ・南方熊楠顕彰会より「南方ワークス第38号」
- ・JCニュース10月号
- ・米山「9月の寄付金傾向」「9月度までの寄付金納入一覧表」
- ・ガバナー事務所より「2011~2012年度 RLI開催のご案内」
- ・10月26日(水)山下郁夫君の県教育委員長就任を祝う会のご案内(出欠表)
- ・田辺市暴力追放協議会より、先日の街頭啓発パレード参加へのお礼状

掲示

- ・橋本紀ノ川RCより 事務所移転のお知らせ

連絡

- ・NPO法人 会津スポーツクラブより「第6回全国スポーツクラブ会議」のご案内をいただきました。各自トレーに入れてあります。
- ・11月のロータリーレートは1ドル=78円です。



社会奉仕・国際奉仕の活動は、単発的な一瞬のひととき、ある限られた時間だけ“サービスの心”を持てば、奉仕活動は実践できますが、職業とは、日々の生活であり、職業サービスの実践はひとときも欠かさず、“サービスの心”を持ち続けなければならず、まさにその人の生き様、人生そのものであると私は思います。

このように考えて見ますと、職業サービスを実践できる人というのは、功德を積み重ねられた崇高な人格形成者であり、そのような人物を育てるために訓練するところがこのロータリー道場であると思います。職業奉仕（国際ロータリークラブHPより抜粋）ロータリークラブは、企業経営者、専門職といった職業人の集まりです。会員は、それぞれの職業を代表してクラブに入会します。したがって、会員候補者は、その時点で既にその職業において高い見識と業績を積み上げてきた人ばかりですが、そういった人々が集まって、互いに切磋琢磨し、自らの人格と職業倫理の更なる向上に努める、というのが、ロータリーにおける「職業奉仕」の基本です。

「四つのテスト」は、ハーバート・テラーというアメリカのロータリアンが、ある企業の再建を引き受けたときに考えた企業の倫理的指針です。彼は、これによって見事にその企業の再建を果たし、それ以来、ロータリアンたちに職業倫理の指針として広く愛用されています。

すなわち、自らの企業の倫理性を高め、従業員やその家族に対する責任や社会に対する責任を果たすこと、このようにして、倫理にかなった事業を営むことが顧客の満足と感謝を生み、企業の信用性を高め、結果として自己の企業の安定的かつ持続的な利潤を確保していくことにつながるのだということ、これが「人生哲学としての職業奉仕」とされているのです。

さらに、「職業奉仕」には、自らの職業における専門知識を通じて互いの知恵を交換し、同業者団体の発展に寄与して地域社会や国際社会に貢献していくという考え方も含まれています。

米山記念奨学金

ロータリージャパンより <http://www.rotary.or.jp>



日本で学ぶ外国人留学生を支援する、日本の全ロータリークラブによる「多地区合同奉仕活動」です。これまでに支援した奨学生は109か国1万3,902人にのぼり、日本の民間奨学財団では最大規模です。

“日本ロータリーの父”米山梅吉氏（1868-1946）の没後、彼の功績を偲ぶために何か有益な事業を、という声がロータリアンから上がりました。

「世界に“平和日本”を理解してもらうためには、まずアジア諸国の理解を得なければならない。アジアから一人でも多くの留学生を迎え入れ、平和を求める日本人と出会い、互いに信頼関係を築くことこそが、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないか」。こうして東京RCで始められた「米山基金」が、全国ロータリークラブの合同事業として広がり、1967年7月、文部省（現文部科学省）から財団法人の許可を得るに至りました。2007年度は、財団設立40周年を迎える記念すべき年です。

米山奨学事業の特長は、世話クラブ・カウンセラー制度によって、奨学生一人ひとりが日本での留學生活において精神的な支えを得、かつロータリー活動に密着することができる点にあります。ロータリーが求める平和の精神を胸に刻んで巣立った元米山奨学生には、韓国駐日大使やスリランカ警察庁長官、ネパールの女性職業訓練センター所長のほか、韓国・台湾でガバナーを務めた人もいます。元奨学生を中心に組織される米山学友会は海外を含めて27あり、災害時のボランティア活動やシンポジウムの開催など、社会に貢献する活躍をしています。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1 真実かどうか？
- 2 みんなに公平か？
- 3 好意と友情を深めるか？
- 4 みんなのためになるかどうか？

～ ホトトギス ～

花言葉 「秘めた思い」

